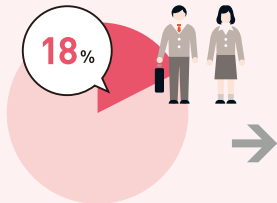
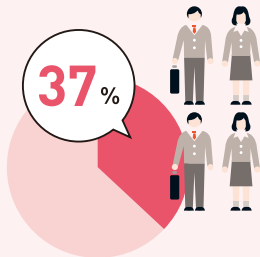


●多様な働き方を選択できる社会の実現へ

[非正規の職員・従業員の割合]



1987年



2017年

育児・介護との両立や副業・兼業など、働き方のニーズは多様化。個々の事情に応じて柔軟な働き方を選べる社会の実現に向け、国は「働き方改革」を推進。一方、非正規雇用者の割合は30年間で約2倍に増加。正規雇用者との待遇格差是正のため「同一労働同一賃金」の実現に向けた動きもある。

1987年：総務省「労働力調査(特別調査)」(2月調査)／

2017年：同「労働力調査(基本集計) 平成29年(2017年)平均(速報)結果」